

<6月28日(火)市内大会報告会 校長あいさつ>

山潟中学校の皆さん、市内大会たいへんご苦労様でした。

私も、できる限りたくさんの方の会場を回らせてもらって、多くの山潟中のみんなが頑張っている姿を目の前で見せてもらいました。

一番最初に感じたことは、やっぱりあらためてスポーツっていいなあ、という思いです。スポーツに限らず、人間が何か一つのことに集中している姿、必死に頑張っている姿は、とても清々しく、一言で言えば実に「かっこいい」んですよね。目の輝きが普段と違います。

今回の市内大会でも、そんな山潟中学校の皆さんのかっこいい姿と数多くのドラマを目の当たりにして、たくさんの方の感動をもらいました。

部活動に入っていないなかったり、日常的に運動やスポーツや勉強以外の習い事をやっていない人もたくさんいるかと思いますが、ぜひ、豊かな生き方をするためにも、生涯を通じて、運動やスポーツや芸術などにいそしみ、自分が熱中できるものを見つけて、自分が感動する、周囲に感動を与えられる生き方をしたいなああと、あらためて感じました。

さて、今回、入賞や県大会出場を決めた皆さんは、本当におめでとうございます。もちろん、それはこれまで頑張ってきた努力の証としての成果ですので、心から祝福をしたいと思います。

しかし、だからといって、今回、思うような結果を得られなかった人やチームが、これまで全く努力してこなかったかということとはそうではありません。勝敗や入賞等の有無は、あくまで相手があったことです。対戦相手や競争相手のレベルによって、結果は左右されるのです。

努力の大小はあると思いますが、すべてこれまでやってきたことが無駄になるわけではありません。

人間は2つのパターンに分かれると思うのです。それは、うまくいかなかったことを振り返って後悔したりいつまでも嘆いたりするタイプと、すぱっと切り換えられるタイプと。通常は、切り替えが早い方が美徳のように思われがちですが、やっぱり人間が成長するためには、うまくいかなかったことの後悔や、負けたことの悲しみややるせなさの思いを、ずっと思い続けて次に生かすことも大事だと思います。

ほとんどの人は、負けたりうまくいかなかったら、その場で大粒の涙を流し、1時間や1日経てばくやしきなんかも忘れてしまう。でも、それだけでは、これまで努力したことは無駄となって、また同じ事を繰り返すはずですよ。

もちろん大切なのは「過去」でなく「今」、そして「これから」です。「これからがこれまでの価値を高める」のです。でも、「これから」を生きるために「これまで」を大切に、「今」をがむしゃらに頑張りたいのです。

そして最後に。今回大会に出場した皆さんは、だれからも愛され・励まされ・応援される人間、応援されるチームとして大会を終えられたでしょうか。学校に残っていた皆さんも、仲間が必死で頑張っている姿を思い描きながら、心の中で必死になってエールを送ることができたでしょうか。

この市内大会を通じて、あなただけにしか価値が判断することができない賞状やトロフィーを、あなた自身の心に与えることができたかどうか。それが、この市内大会の皆さんの「振り返り」です。